

左近山中だより

令和 3年 3月24日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 11

新たな可能性を求めて

校長 福田有志

3月11日に第49回卒業証書授与式を実施しました。今年は、保護者の皆様に、卒業生のみなさんの晴れ姿を見ていただくことができましたことを本当に嬉しく思います。

今年度の3年生のみなさんは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、立派に最高学年として活躍してくれました。「修学旅行に行きたかった。」「修学旅行に行かせたかった。」「去年までの体育祭と同じ競技をやりたかった。」「全校で集まって文化祭を盛り上げたかった。」「子どもたちが頑張っている姿を見たかった。」卒業生のみなさんの気持ち、先生方の気持ち、保護者のみなさんの気持ち。痛いほど分かりながらも、その都度、今までと同じようにはできないという判断をしてきました。

そのような厳しい状況の中でも、3年生のみなさんは左近山中学校の顔としての責任を立派に果たしてくれました。体育祭や文化祭を笑顔で、全力で、楽しんで取り組む姿は、とても頼もしい存在でした。生徒会活動、委員会活動、部活動、様々な行事で活躍して、力を発揮していました。

学年が上がっていくごとに自覚をもった上級生として成長していく。学校を代表する学年の生徒として力を発揮する。この良き伝統を、今後も、在校生がしっかりと受け継ぎ、更に発展させてくれることと思います。

1・2年生はそれぞれ進級して、上級生となります。この一年で経験したこと、行ってきたことを踏まえて、更に左近山中学校の様々な活動を力強く、進めていけると考えています。そして、1・2年生のみなさんが新たな左近山中学校の伝統を創りあげていくと信じています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策を常に考える一年となりました。同時に様々なことを行うために新しい形態を模索しながら、柔軟な発想によって物事を進めていく一年でもありました。次年度も新たな可能性を発見しながら、円滑な教育活動を行っていくために尽力していきます。

保護者の皆様、地域の皆様、本当に一年間ありがとうございました。今後とも左近山中学校の教育活動に御理解・御協力をよろしくお願いいたします。



3年生を送る会

3月3日（水）に3年生を送る会を行いました。日頃からお世話になった3年生に感謝の気持ちを込めて、1・2年生から3年生にささやかではありますが、送る会を開催させていただきました。例年とは違って、体育館には3年生のみ、1・2年生は教室でテレビ放送という形で参加しました。生徒会本部役員が中心となり、各クラスからの感謝の言葉、部活動からの感謝の言葉、もう左近山中を移動された先生方からのメッセージなどをビデオにまとめて上映しました。特に生徒会本部役員は何度も打ち合わせを繰り返し、当日の動きのリハーサルを繰り返し行い、当日を迎えました。3年生にとっては、この3年間を振り返り、懐かしさや成長を感じることができたのではないのでしょうか。そして2年生は、最上級生としての自覚をもつきっかけとなりました。1年生も、来年は自分たちが中心となって、様々な行事を盛り上げていく自覚が生まれたのではないのでしょうか。



（特活指導部 3年生を送る会担当）

球技大会

3月12日に1・2年生による球技大会が行われました。前日に3年生が卒業式を迎え、2年生は最上級生として、1年生はこれから下級生を迎える立場として行われた行事です。

1・2年生の合同チームでドッジボールとバレーボールが行われました。2年生がチームリーダーとしてチーム分けや作戦を考え、当日も生徒たちの生き生きとした活動が見られました。審判や得点の記入も生徒が分担して行い、自分たちで行事を作る実感をもちながら活動ができていたようです。

また、生徒会本部役員が開閉会式の運営を務めました。入念な準備を重ねて、本番では全校生徒に向けて、球技大会の成功に向けてスピーチをすることが出来ました。

振り返りでは、

「最上級生としてしっかり後輩を引っ張っていきたい。」

「学年混合で鬼ごっこをやってみたい。」

「もっと協力してやりたい。他学年をちゃんとまとめて誰もイライラしないようにしたい」などの意見が出てきました。

授業だけでなく、行事も通して「自分たちの生活をよりよくしたい！」という気持ちを高めてほしいと思います。



（特活指導部 球技大会担当）

生徒 学校生活のアンケート結果(令和2年12月実施)

4 そう思う 3 やや思う 2 あまり思わない 1 思わない

注：「全体」は、「1年」、「2年」、「3年」、「4年」の合計で算出しています。

→「4年」は人数が少ないため、算出では表示していません。

No.	評価項目	4と3の合計			
		1年	2年	3年	全体
1	学校生活は楽しいですか。	87%	77%	95%	86%
2	目標を持って学校生活を送っていますか。	67%	56%	91%	70%
3	あいさつや返事をしっかりとしていますか。	88%	83%	100%	89%
4	しっかりとした服装・態度で生活していますか。	86%	87%	100%	90%
5	自分の机・イス・ロッカーや、公共の物を大切に利用していますか。	85%	90%	100%	91%
6	ゴミの少量化や分別を意識して生活していますか。	83%	77%	97%	85%
7	授業中しっかりと話を聞き、考えようとしていますか。	77%	83%	100%	85%
8	家庭で毎日勉強していますか。	39%	54%	83%	56%
9	あなたの学力は向上していると思いますか。	59%	56%	85%	65%
10	生徒会活動や委員会活動・学級の係活動はしっかりと取り組んでいますか。	88%	67%	99%	84%
11	学校行事(1年：体育祭・学年レク、2年：体育祭・鎌倉遠足、3年：体育祭・修学旅行)に、しっかりと取り組みましたか。	94%	86%	99%	93%
12	部活動にしっかりと取り組んでいますか。	92%	86%	91%	90%
13	定期テスト前に学習室「学びのひろば」があると助かりますか。	54%	44%	67%	54%
14	長期休業中に学習会があると助かりますか。	50%	31%	55%	45%
15	先生方は相談に乗ってくれますか。	82%	62%	95%	79%
16	先生方はいじめなどのない楽しい学級づくりや学校づくりに努めてくれますか。	77%	66%	91%	77%
17	先生方はよい行いや努力したことを認めてくれますか。	89%	72%	94%	85%
101	私は、忘れ物(授業の道具、提出物や宿題)をしていません。	62%	71%	88%	72%
102	私は、チャイムと同時に授業に入られるよう、心の準備をして授業に臨んでいます。	87%	81%	99%	88%
103	私は、授業中に先生の話を集中して聴き、授業をまじめに受けています。	80%	82%	99%	86%
104	私は、放課後に学びのひろばや家などで、予習や復習をしています。	41%	47%	78%	53%
105	先生は、ていねいに、わかりやすく授業を進めています。	88%	84%	95%	89%
106	副教材(ワークブック等)や先生が用意する教材、プリントは役立っています。	86%	83%	95%	87%
107	毎時間の授業を通して、学習への興味や意欲が高まります。	75%	68%	92%	77%
108	授業で複数の先生が教えてくれるのはわかりやすい。	80%	54%		67%
109	少人数での学習は、クラス全員での学習よりわかりやすい。(2年：英語/3年：数学)		66%	88%	77%

【生徒アンケートの結果について】

- あいさつや服装・態度などの基本的な生活習慣への意識の高さを示しています。しかし、目標を設定し、それに向かって行動をする姿勢をもつことが課題ですが、学校での諸活動に、目的意識を大切にしようとする働きかけをしていきたいと思えます。
- 授業への取組についての自己評価ですが、おおよそ8割程度の生徒がしっかりと話を聞き、考えようと思意を見せています。しかし、家庭学習や自習についての自己評価は、おおよそ5割から6割の生徒が否定的な評価を回答しています。学習への意欲を高め、学びのひろばの積極的な活用を促すなど、今後も継続して学力向上を目指す必要があります。
- 項目15、16、17については、生徒の自己評価が低めになっています。この結果を真摯に受け止め、今後も信頼関係の構築にさらに取り組んでいく必要があります。

保護者 学校評価アンケート結果(令和2年12月実施/回収率65%)

4 そう思う 3 やや思う 2 あまり思わない 1 思わない

注:「*わからない」という回答の数を分母から除外して割合を算出しています。

取り組み分野	No.	評価項目	4と3の合計
教育課程 学習指導	1	学校は、学習時間の確保に努めています。	94%
	2	学校は、朝読書や自習室「まなびの広場」の開設などで、基礎学力の定着に努めています。	88%
	3	教員は、わかりやすい授業実践に努めています。	77%
	4	少人数授業* (3年の数学と2年の英語) や、T T* (1年と2年の数学/1年の国語) は、生徒の学力向上に効果的です。	90%
	5	教員は、生徒の学力や努力を適切に評価しています。	88%
進路指導	6	学校は、3年間を通して、学年に応じた進路学習を行っています。	86%
	7	教員は、生徒が自分に適した進路を選択できるように指導しています。	83%
生徒指導	8	教員は、生徒の規範意識の向上に努めています。	87%
	9	学校は、保護者や地域と連携して生徒理解に努めています。	80%
	10	生徒は、生徒会活動・委員会活動に意欲的に取り組んでいます。	88%
	11	生徒は、体育祭や校外学習などの行事に意欲的に取り組んでいます。	91%
保健管理	12	生徒は自主的に健康管理に取り組んでいます。	85%
	13	教員は、生徒の健康状態に配慮しています。	89%
安全管理	14	学校は、災害や事故に適切に対応しています。	93%
	15	学校は、侵入者対応などの防犯対策に取り組んでいます。	87%
特別支援教育	16	学校は、個別支援学級と一般学級生徒の相互理解に努めています。	90%
保護者 地域連携	17	学校は、「学校便り」等を通して学校の様子を積極的に発信しています。	90%
	18	学校は、地域とのつながりを大切にし、地域活動(ほのぼの会、学校開放、自治会行事など)に協力しています。	85%
教育環境整備	19	学校は、施設の維持・管理に努めています。	94%
	20	教員と生徒は、清掃や美化活動に取り組んでいます。	96%
その他	21	生徒は、部活動に熱心に取り組んでいます。	93%
	22	生徒は、充実した中学校生活を送っています。	90%

※少人数授業*: 学級を複数の集団に分けて行う授業形態

※T T*: 1つの集団を複数の教員で指導する授業形態

【保護者アンケートの結果について】

- 学校行事や生徒会活動、学校便りなどの発信について90%以上の評価でした。
- 生徒が充実した中学校生活を送っていると90%の評価でした。
- 22項目中21項目で、80%以上の評価でした。昨年度の評価より6項目多い高い評価でした。
- コロナ禍における臨時休業等の措置もありましたが、授業時間の確保に積極的に取り組んできたことが高い評価につながっていると考えます。また、わかりやすい授業実践についての評価が低めでした。この結果をしっかりと受け止め、学習支援などで、さらなる工夫と実践を行っていきたく思います。